

千八百七十八年四月四日  
巴里日報抄譯

第二号

大藏省  
翻譯課

3911





14  
A 726



英國政府ハ此時魯國政府ヨリ報道セル決定ヲ聞マテ深ク歎息

ス

抑モ今回サンステフハノ一ニ於テ定メシ和約ノ條款ハ何レノ

事項ニ至ルマテヲ歐洲列國ノ評議ニ附共ス可キ者トシテ許カ

ルヤ未タ一定ス可ラズト雖モ要スルニ其一大部分ハ必ス閣

員ニ附共セラル可シ然レモ國使會ニ於テ隨意ニ閣員ヲ拒ムル

權利ヲ有スルハ蓋シ大異論ヲ免レズ

且夫英國ノ欲スル所ハ和約書ノ閣員ナリ宣此室々タル國使會

ニ於テ片章斷款ノ閣員ヲ行フヲ許カンヤ書中ニ公示ス可ラサ

ル條款アルハ即チ千八百五十六年ノ和約ニ違フ所アルノ明証

ナリ

凡ソ同盟列國ハ相熟識シテ許諾ヲ受ル者ニ非カレハ和約ノ

義務ヲ脱シ條款ヲ改ム可ラザルヲ萬國公法ノ大綱領ナリ是レ

大正十一年四月  
侯爵郵寄

大綱領



千八百七十一年龍動府ノ會議ニ於テ定メタル第一決議書ニ附  
加ルル明文ニシテ列國使節ノ公認セル所ナリ魯國ノ使節モ亦  
タ之ニ預レリ矣

英國政府ハ此明文ヲ守ルガ故ニ魯國政府ヲシテ現行和約書ノ  
契約ヲ変シ及ヒ之ニ於觸スル新設和約書ノ條款ヲ列國ノ不同  
ニ置カント欲ルヲ承諾スルヲ能ハズ

且夫某條款ヲ指シ某條款ヲ論スルカ如キ部分ノ圍極ヲ承諾ス  
ルヲ能ハサル所以ハ和約書全体ヨリ生スル結果ト種々ノ條款  
ヨリ生シテ連印諸國ノ利益ヲ害スル集合結果トニ依テ見ル可  
シ

此和約ヨリ生スル至候ノ事故ハ歐洲東南ノ諸國ニ總体ニ係ル  
者ヲ第一トス新ビユルガリ國(政羅乙土耳其)ヲ創立スルノ條款  
ニ依テハ魯國ノ庇護監守ヲ受クル斯許族(魯國波蘭名)ノ一強國

現出シテ黑海多島海上ニ要港ヲ設ケ此海上ニ於テ貿易交際政  
治交際ニ関スル霸權ヲ占有セシ

此新封邑ハ希臘人希臘同俗人其他許多ノ人口ヲ斯許ノ巨族中  
ニ混濁シテ其迹ヲ滅センガ為メニ建テラル者ナリ而メ是オノ  
人氏ハ魯國ノ殊異ナル而已ニ非ス政治教法ヲ同ラセザル

一都邑ガ併呑ノ企望ヲ畏怖驚歎シテ熟視スル耳  
此新立國ハ其實魯帝ノ擁立スル君主ノ手ニ属シ政治ハ魯國ノ  
理事官ニ依テ料理セラレン王位ノ安危ハ魯兵ノ護衛ニ任セン

是オノ事項ヲ定ムル條款ヲ以テ將來魯國ノ干預セントスル政  
略ヲ見ルニ足レリ  
且夫テツカリ及ヒエビール(希)ノ國人ノ為メニ良法ヲ新設セ

ント約スル條款ハ甚メ賞ス可シト雖モ此目的ヲ達スル為メニ  
立ル所ノ法律ハ魯國ノ監守ニテ編定セント約スル箇條ヲ駢



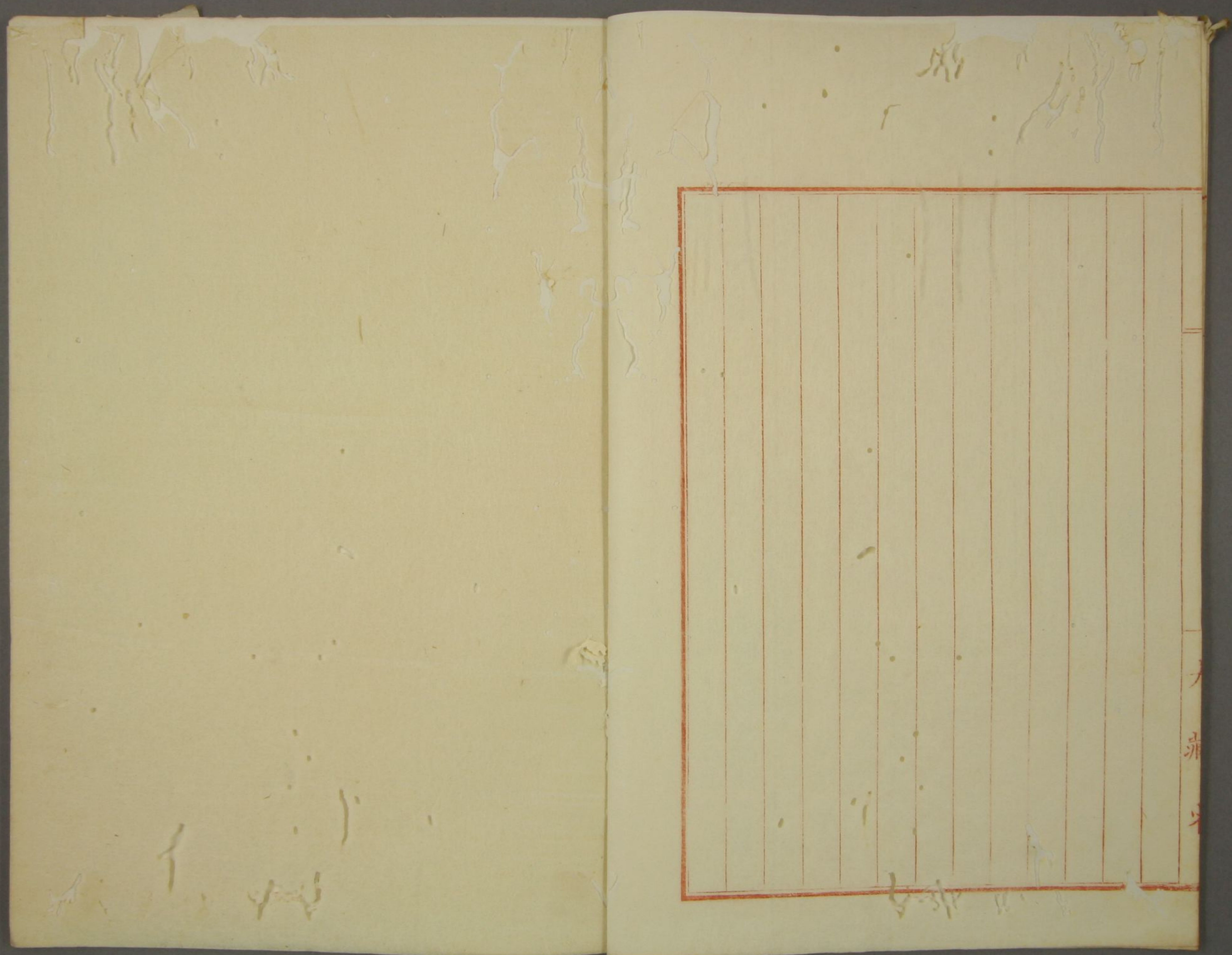
載ス其次ニハ魯國教會ノ宗徒ノ保護ニ関スル契約アリ是レカ  
イナルゲ一政羅巴土其ノビルガリ州ノ村名ナノ和約中ニ魯國  
ノ要求ヲ主張セル條款ニ比スレバ一層專横ノ契約ナリ是レ千  
八百五十六年ノ條約ニ依テ廢止セラレシ契約ナリ此一箇ハ新  
ビュルガリ國ノ境外ニ魯國ノ威權ヲ伸ヘントスル條款ナリ  
希臘政府其他此國ト同ク阿多曼帝國ノ諸部ニ關係アル諸國ハ  
此ノ如キ條款ヲ疾視セザランヤ條約ノ該部ヨリ生スル結果  
ハ多ク希臘人ノ住スル土地ト海岸ニ魯國ノ勢力ヲ增長シテ獨  
リ希臘ヲ害スル而已ニ非ス猶且地中海ノ東岸ニ利益ヲ有スル  
諸國ヲ害セン

阿多曼ノ版圖ニ屬スル希臘阿再巴丘斯諸州ト公士坦丁府  
ノ地方トヲ分断スルハ該諸州ヲシテ行政上斷ナキ困難ニ陥  
ラシメ帝土廷ヲシテ國力ノ羽翼ヲ失ハシムル而已ナラズ談

諸國ノ人民ヲシテ騷亂ノ巨患ニ嬰ラシメン

又羅馬尼亞ニ命シテベツカラビーヲ讓共セシメ回部人希臘人  
ノ多住スル黑海々岸ニビュルガリ一國ヲ蔓延セシメバルウム  
ノ要港ヲ占有スルボノ條款ハ魯國ヲシテ黑海ノ周圍ニ跋扈セ  
シメ土國ノ該地方界ニ於テ前途ト同一ノ結果ヲ生セシ  
魯國ヲシテ阿再巴丘斯諸州ヲ占有セシメバ該州ノ人民ハ勢  
將ニ魯國ノ直管下ニ屬スルニ至ラン又ケルデスタン州ヲ魯國ニ  
讓共セバ隨意ニ通商禁遏柵ヲ設ケテ政州大貿易ノ道ヲ閉塞セ  
シ







一千八百七十八年四月四日  
巴里日報抄譯

第三号





土國歳入ノ剩餘ハ悉ク債主ノ按當ニ供セリ仮令然ラザルモ土  
 國ノ容場ニ償却ス可ラザル巨額ノ償金ヲ約セリ而シテ此償却ノ  
 方法ハ期限ヲ定メズ之ヲ西國後日ノ契約ニ附セリ察スルニ魯  
 國ハ此償却ヲ不日ニ要求セン然ラザレバ償却セザル負債状ハ  
 償却ス可ラザル負債ニ変シテ之ヲ据ヘ置キ永ク土國ノ獨立ヲ  
 抑壓セン巨大ナル土地ノ讓與ヲ要求スルニ非ザレバ土廷ノ政  
 ナシク魯國ノ政ニ属轄スル特別ノ契約ニ變メン是レ該條款中  
 ニ大有力ノ容城ヲ備ヘ之ヲ以テ己ヲ得ル時機ニ臨メバ阿多  
 曼政府ヲ抑壓セントスル者ナリト認メザルヲ得ズ  
 右ニ掲タル種々ノ條款ハ一々ニ抗論シ能ハシク而シテ又總体ニ論  
 セザレバ政亜二洲土耳其ノ諸州ニ平安ヲ立ル現行條約ノ大主  
 意ト合ハサル事由ヲ示ス為メ確證ヲ奉ルヲ得シ然レモ同盟列

大正十一年四月  
 侯爵郵寄贈

藤井



國ノ尤モ真面目ニ注意ス可キ所ハ是ガノ條款(正不正ヲ問ハズ)ヨリ生スル一區一分ノ結果ニ非サルナリ希臘人ニ對シ及ヒ海上權ノ權衡ニ對シテ生スル結果ト其他ノ結果ノ外ニ生スル集合結果ハ到底土廷ノ獨立權ヲ屈シテ藩屬ノ位地ニ降下セン土廷ノ明白真確ナル領地ハ大遼烈顛國ノ為メニ最大利益タル地形上ニ迄直ス該政府ハエジエ海ヨリ黑海ニ往來スル為メ萬國ノ由ラザル可ラザル通路タル海峡ヲ閉塞スルノ權アリ且該政府ガ波斯灣ノ海口東國ノ海岸ニエエス通壑河ノ直接近隣ニ於テ領主權ヲ有スルハ萬國ノ公認スル所ナリ此ノ如キ權利ヲ有スル者ニシテ其力己レノ上ニ出ル強國ノ政鋒ニ緊縮セラレ其獨立ハ更ラナリ永存モ殆ト保ツ可ラザルニ至ルニ任カス者アルヲ見ルハ英國ノ尤モ憂フ可キ一事ナリ是故ニ回使會ニ於テ一國ノ撰擇ニテ若干條款ニ限レル閱檢ヲ為スハ這回ノ條約

ヲ以テ定ムル事件ヨリ生スル英國ノ利益ト改測ノ平和ニ係ル危險ヲ救済スルノ方法ニ非ス

公士坦丁府ノ會議ニ於テ英國ノ立テシ目的ハ不平ヲ訴フ可キ主意ヲ消除シテ土廷ノ獨立獨行ヲ得ルノ時ニ至ルマテ之ヲ保護シ該廷ノ政体ヲ改革スルニ在リシナリ此目的ヲ達スルニハ各種民ヲシテ土帝ノ忠臣ト為テ土國ヲ守護ニシメ愛國ノ精神ヲ興起セシムル為メ其位地ニ安スルノ主意ヲ共ハサレハ能ハカリシナリ

然ルニ阿多曼政府ノ執拗ニ依テ此政略ノ目的ヲ誤テリ方今ノ形勢ニ至テハ右ノ方法ヲ以テ右ノ目的ヲ達スルハ難シ今ヤ是迄歐洲東部ノ國勢ヲ安排セシ條約中ニ必ズ大變革ヲ生セン然リ而メ英國政府ノ希望スル結果ハ一良政府ヲ立テ永久ノ平和ヲ定メ是等ノ利益ヲ知ラザリシ人民ニ自由ヲ得セシム



ルニ在リ

英國政府ハ右ノ目的ヲ遂ルニハ今回魯土西國ノ定メシ商議ニ依テ將來損害ヲ被ラントスル利害ノ調査ヲ請求スルヲ最良方

<sup>法</sup>ト信ス

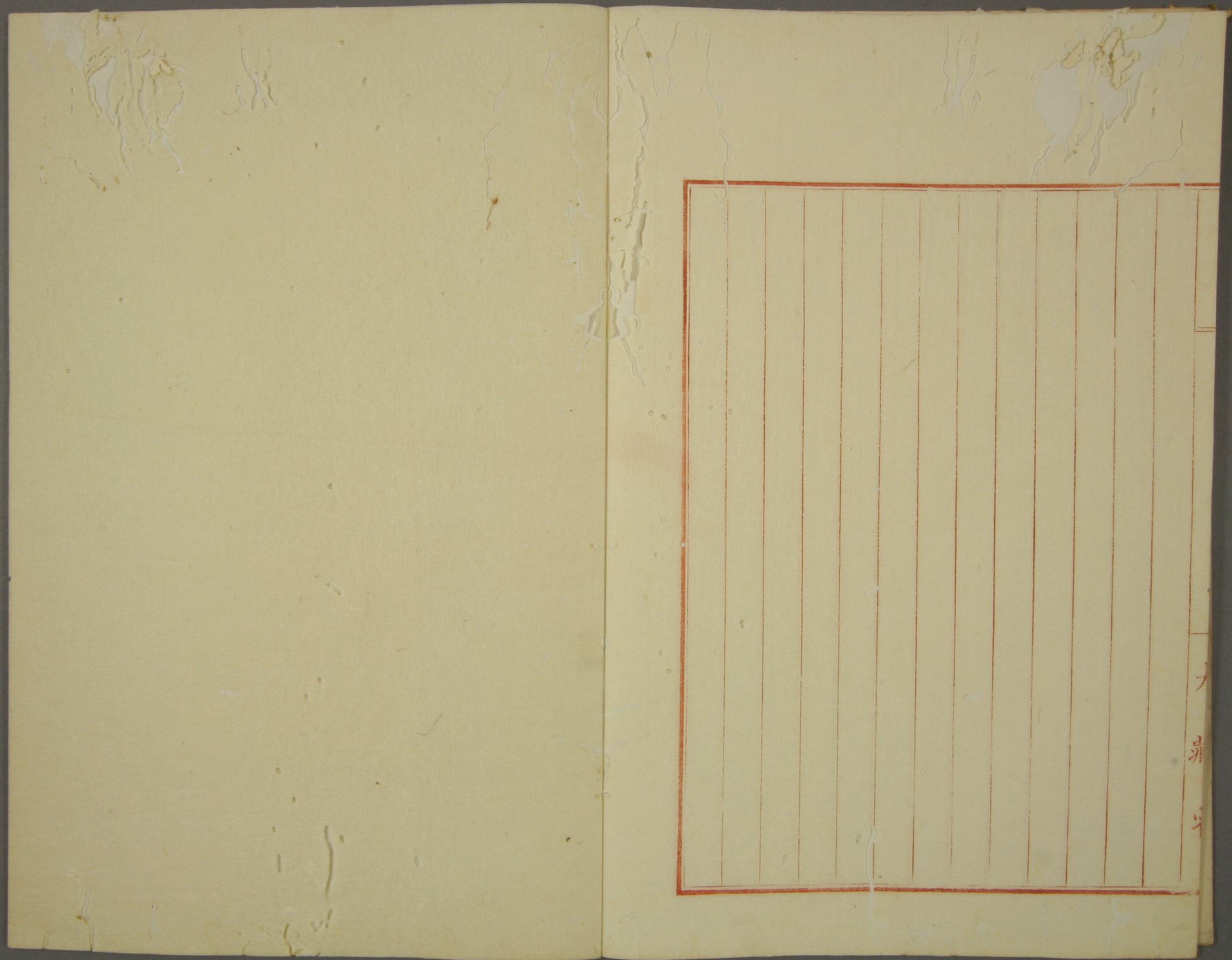
故ニ新設條款ヨリ現行條約ニ大逆列國其他列國ノ所有權利ニ比較シテ總攬權ヲ行フ國使會タラバ英國モ異議ナク會同セン然レモゴルチヤコフ公ガ近日ノ唇信ニ開陳セルガ如ク條款ノ一半ヲ留存シテ論議ニ附セザル國使會ニテハ英國政府ノ特別ニ保守ス可キ利益并今回ノ條約ニ關係アル諸國土ノ幸福ノ如キハ豈能ク貴重セラレシヤ閣下此廻章ヲ外務卿ニ通知シ共ニ一通ノ謄寫文ヲ送ラシメテ

サリスブリーノ手署

フ敬白

公使閣下





九  
鼎  
一



